

【選択領域】試験一括型

<p>主な受講対象者</p>	<p>小・中・高等学校教諭 (教科指定なし) 養護教諭・栄養教諭</p>	<p>履修対象職種</p>	<p>教諭・養護教諭・栄養教諭</p>
<p>開設講習名</p>	<p>持続可能な社会の創り手を育む教育とSDGs</p>		
<p>開設日</p>	<p>令和3年(2021年)8月20日(金)</p>		
<p>担当講師</p>	<p>河野 晋也(教育学研究科講師)</p>		
<p>履修認定試験&lt;試験一括型&gt; (4限終了後に試験を実施します。)</p>		<p>試験時に配付資料・ノートの参照: 可 (タブレット端末の参照は不可)</p>	
<p>担当講師からの連絡事項等 授業づくり(4限)に使用したい方は、担当学年や担当教科のカリキュラム表(単元配列表)や指導計画を持参していただいてもかまいません。(希望者のみ)</p>			
<p>1 限 (9:00~ 10:15)</p>	<p>本講習では、持続可能な社会の担い手を育成する上で求められる資質・能力や働かせたい見方・考え方について概観し、地域に見られる現代的諸課題を教材としたESDの授業づくりをする力量の向上を目指します。</p> <p>1限 SDGsと身近な課題 「持続可能な開発目標」(以下SDGs)とMDGsとの違い、SDGsの策定の経緯とその背景にある現代社会の諸課題について概観します。また、小学生や中学生にとって身近な環境、ライフスタイルと現代的諸課題との関係に目を向け、地域に見られる持続可能性についての課題を把握します。</p>		
<p>2 限 (10:30~ 11:45)</p>	<p>2限 ESDの授業づくりの視点 ESDの目的は「持続可能な社会の創り手に求められる価値観と行動の変革」と言われます。こうした学習者の変容を目指す学習を生み出すために有用な「授業づくりの視点」を検討します。例えば、持続可能な社会を支える価値観、学習者に求められる能力などです。</p>		
<p>3 限 (12:45~ 14:00)</p>	<p>3限 ESD実践事例検討 ESDの実践は、環境教育や開発教育、国際理解教育、消費者教育、人権教育、歴史文化遺産教育、平和教育など様々なフィールドと関連をもちます。これらの学習や教科学習において、過去に小(中)学校で実践された事例を分析します。</p>		
<p>4 限 (14:15~ 15:30)</p>	<p>4限 ESD授業づくり 受講者が自身の校種、教科におけるESDの授業構想を作成します。勤務校区、市町村の地域資源を生かした授業づくりのアイデアや、既存のカリキュラムを基盤としてESDの要素を加味していくという授業づくりのアイデアを受講者間で共有し、ESD実践を構想する力を培います。</p>		
<p>(15:45~ 16:45)</p>	<p>履修認定試験</p>		